



# 原田りょう

全力通信  
NEWS

はらだ りょう

発行元:自由民主党・無所属大阪府議会議員団 発行日:平成29年1月1日

## 新年のご挨拶

旧年中は、私たち自由民主党・無所属大阪府議会議員団の活動に対し、多大なるご理解とご支援を賜りありがとうございます。

昨年、大阪府においては、府立公衆衛生研究所と市立環境科学研究所の統合決定、マンションなどの空き部屋を宿泊施設に活用できる民泊制度の開始、緑を守るための森林環境税の創設、自転車保険の加入を義務化した自転車条例の創設など、府政発展のため様々な制度改革に取り組みました。

一方で、全国の地方議会において、政治資金や政務活動費の使途に関して、様々な問題が指摘され、地方議員の資質が問われる事態が相次ぎました。

大阪府議会としても、改めて襟を正し、府民の皆様の負託に応えるべく、より一層尽力してまいりますので、本年も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

## 知事提言について

平成28年12月8日、私たち自由民主党・無所属大阪府議会議員団は、松井一郎知事に対して平成29年度の大阪府の施策推進に関する提言を行いました。

杉本太平幹事長より、「経済・教育・福祉など、府の課題は多いが、現時点での私たち党派の見解をまとめたものであり、是非、大阪府の発展のために、私たちのこの要望を役立てて欲しい」と申し上げました。松井一郎知事はそれに対し、「しっかりと受けとめて、府政運営に生かして参りたい」と応じました。

連携できるところはしっかりと協調しながら、オール大阪で府政推進に努めてまいります。



## 知事提言 主な項目

### ① 未来を担うひとづくり

- ・仮称子ども局の設置
- ・私学助成制度の充実
- ・眠育の普及
- ・がん教育の充実

### ② あんしんづくり

- ・子ども運賃の無償化
- ・少子化対策
- ・貧困状態の家庭への支援
- ・違法民泊対策

### ③ にぎわいづくり

- ・世界都市OSAKAブランド委員会の設立
- ・関西ワールドマスターズゲームズ2021への支援
- ・仮称スポーツ局の設置
- ・2025大阪万博の誘致について

### ④ まちづくり

- ・南海トラフ巨大地震などの防災対策
- ・交通渋滞の解消、インフラの維持管理、環境対策
- ・府営住宅のありかた
- ・欧州エリアの活性化

### ⑤ 大阪の産業を元気に

- ・仮称大阪・アジア連携局の設置
- ・中小企業支援
- ・世界を支える大阪(ものづくり企業のアピール)
- ・就労対策等

### ⑥ 交通ネットワークをひろげる

- ・高速道路等の整備等
- ・鉄道ネットワークの整備等
- ・関西国際空港の活用
- ・府営港湾の活用

### ⑦ 大阪府政の立て直し

- ・収支見通しの検証
- ・特別顧問・特別参与の活動の見える化
- ・財政運営の見直し
- ・大阪府立大学と大阪市立大学等の統合案件

## プロジェクトチーム(PT)の始動

私たち会派は11月、現在の大阪の課題を整理し、検証するため『万博』『副首都・高速道路』『教育・子ども』の3分野に分けて、プロジェクトチーム(PT)を立ち上げました。

各プロジェクトチームには、それぞれPT座長を置き、府担当者や有識者からのヒヤリング及び、現場調査などを行い、平成29年2月をめどに報告書にまとめます。報告書はそれぞれ、府政に反映させるために府や国の関係機関に提出する予定です。

すでに昨年11月より、各PTは始動しており、活発な意見交換が行われています。

### 3分野のPT(プロジェクトチーム)

#### 万博PT

#### 副首都・高速道路PT

#### 教育・子どもPT

大阪府が誘致を目指す2025年の国際博覧会(万博)について、私たち会派は、大阪全体に万博の効果的に広がることを目的とした万博・統合型リゾート(IR)プロジェクトチームを発足させました。

私たちの見解として、万博の開催は、大阪を世界に向けて発信できる絶好の機会として、大阪・関西、ひいては日本のさらなる発展につなげていくためにも、国、経済界、地元自治体の役割を明確に示すことが重要と考えています。適正な開催経費の下、効果的に準備を進めていかなくてはなりません。

とりわけ、2020年に開催される東京五